

高学年の実践例

～はじめてタグラグビーを学習する6年生の授業～

志賀克哉（東京都大田区立松仙小学校）

◆単元計画

	1	2	3	4	5	6	7
学習計画	オリエンテーション	ねらい1			ねらい2		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや学習の流れを知る ・準備運動に慣れる ・試しのゲーム ・触球数のとり方の確認 	<p>今できる動き方でタグラグビーを楽しもう。</p> <p>《個人で相手の守りを破る動き》 カットイン、ダミーパス チェンジオブスペース、スワープ</p>			<p>工夫した動き方を加えてみんなでタグラグビーを楽しもう。</p> <p>《仲間と協力した攻守の動き》 とばしパス、くるり攻撃、クロス攻撃、 T字ディフェンス、ラインディフェンス</p>		

時間	学習の流れと主な活動	□指導 ■評価
1	<p style="text-align: center;">オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ねらいや学習の流れを知り、単元の見通しをもつ。 ○チームと役割を確認する。 ○学習の進め方やルールについて話し合う。 ○ボールやタグを使った様々な準備運動を行う。 ○試しのゲームをする。 ○ふりかえりをする。 ○整理運動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □DVDを活用してオリエンテーションを行う。 □ボールやタグを使った準備運動を紹介する。 □触球数データのとり方を試しのゲームで確認する。 ■意欲をもち、進め方やゲームの仕方が分かる。
2 ・ 3 ・ 4	<p style="text-align: center;">ねらい1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準備と準備運動をする。 ○ゲームⅠをする。 ○作戦タイム ○ゲームⅡをする。 ○ふりかえりをする。 ○整理運動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □「ボールを持っている人の後ろを追いかける!」「ボールを持ったならタグを取られるまで前に進もう!」の合い言葉を意識させる。 ■タグを取られるまで積極的に攻めることができる。
5 ・ 6 ・ 7	<p style="text-align: center;">ねらい2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準備と準備運動をする。 ○作戦タイムⅠをする。 ○ゲームⅠをする。 ○作戦タイムⅡをする。 ○ゲームⅡをする。 ○ふりかえりをする。(第5・6時) ○学習の反省をする。(第7時) ○整理運動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □様相をみてノックオンやタグを取る回数によって攻守交代をするルールを児童との相談の上で取り入れる。 □作戦の資料を掲示したり、チームのよい作戦を紹介したりして作戦を拡げる。 □作戦タイムで触球数データなどを基に話し合わせ、ゲームに生かしていけるよう声をかける。 ■作戦を意識しながら、積極的に攻めることができる。